様式第１号（第４条、第６条関係）

　　　　　　　年度八頭町障がい児・者地域生活体験事業計画（報告）書

　　（単位：円）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 生活体験ホームの名称 | 間接補助対象経費の実支出予定  （済）額  Ａ | 利用者負担額等その他の収入額  Ｂ | 差　　引  Ａ－Ｂ＝Ｃ | 補 助 基 準 額  Ｄ | 選定額  （Ｃ及びＤ  を比較して  少ない方の  額）　　Ｅ | 全体に占める本町の割合  Ｆ | Ｅ×Ｆ | 算定  基準額  （千円未満切捨） |
|  | ※人件費等の額(建物の賃借料を除く。) | ※家賃相当額以外の収入額 |  | （算式）  ＠4,270円×  延べ　　　日  （生活体験ホーム  の年間利用延べ  日数） |  | ／ |  |  |
| ※建物の賃借料 | ※家賃相当額の収入 |  | ３３０，０００円 |  | ／ |  |  |
| 小計 |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  | | | | | | | |  |

（注）①２以上の生活体験ホームについて記入する場合については、上表に続けて追加して記入することとし、合計欄を設けること。

　　　②利用者負担については、市町村補助がある場合の単価を用いて導き出される額を記入すること。

　　　③A欄の人件費の額について、個別表の３（A）欄と一致すること

　　　④A欄の建物の賃借料は、別紙個別表の３（B）欄と一致すること。

　　　⑤B欄の家賃相当額以外の収入は、個別表の4の②＋③＋④の合計額から(ａ)欄の額を減じた額と一致

　　　⑥B欄の家賃相当額の収入は、個別表の4の(ｂ)欄の額と一致

　　　⑦D欄の年間延利用日数は、障害福祉サービスの利用を除いた日数を記載すること。

|  |  |
| --- | --- |
| この事業を行うに際し他の補助金の活用の有無（いずれかに○） | 有・無 |
| 「有」の場合はその補助金名等を記載してください。  ・補助金名（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  ・事業内容（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  ・補助金所管団体名（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  ・上記の連絡先（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） | |

＜添付書類＞　別紙個別表

別　紙

個　　　別　　　表

（注）個別表は、生活体験ホームごとに作成すること。

１　生活体験ホームの概要

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 生活体験ホームの名称 |  | | | |
| 生活体験ホームの所在地 |  | | | |
| 支援員の配置状況 | 支援員の氏名 |  | 常勤・非  常勤の別 |  | |
| 配置(予定)日数 | 年間延べ　　　　　　　　日 | | | |
| 配置(予定)時間 | 午前・後　　時　　分　～　午前・後　　時　　分 | | | |
| ①利用者負担額  （市町村補助がある場合） | 個人負担額：　　　　　　　円(１泊２日負担の場合は1/2)の額  （内訳）  家賃相当額：　　　　　円、光熱水費：　　　　　円  材　料　費：　　　　　円、日用品費：　　　　　円  その他（人件費等）：　　　　　　　円　　　　　等 | | | |
| ②利用者負担額  （市町村補助がない場合） | 個人負担額：　　　　　　　円(１泊２日負担の場合は1/2)の額  （内訳）  家賃相当額：　　　　　円、光熱水費：　　　　　円  材　料　費：　　　　　円、日用品費：　　　　　円  その他（人件費等）：　　　　　　　円　　　　　等 | | | |

（注）１．市町村補助の有無により利用者負担に差がある場合は、両方の額を記入すること。

　　　２．建物の賃貸借契約書等の写しを添付すること。

　　　３．支援員の勤務状況の判る資料（出勤簿等）の写しを添付すること。

　　　４．支援員の配置（予定）日数は、実数を記載すること。

２　利用（予定）者の状況等

（１）当該生活体験ホームの利用（予定）者の状況

　　ア　当該生活体験ホームを利用する他の市町村名

　　イ　当該生活体験ホームの年間利用延べ日数

　　ウ　イのうち本町に居住する利用者の状況

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 区分 | 年齢 | 性別 | 障がいの状況  （身障・知的・精神の別） | 年間利用  延べ日数  (A)((B)+(C)) | 当該補助事業の対象日数（B） | 障害福祉サービスの利用日数（C） | 日中の活動場所 |
| Ａ |  |  |  |  |  |  |  |
| Ｂ |  |  |  |  |  |  |  |
| Ｃ |  |  |  |  |  |  |  |
| 計 |  |  |  |  |  |  |  |

（２）地域生活への移行状況〔実績報告時のみに記載〕

　　　　※上記（１）の利用（予定）者のうち、地域生活を実現することができた者について記載すること。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 区分 | 生　活　場　所 | 備　　考 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

　　　　２　「生活場所」欄には、「グループホーム」、「アパートでの単身生活」など、利用者の生活場所を記載すること。

３　運営経費の内訳（見込み）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項　　　目 | 金　額 | 積　　算　　内　　訳 |
| ①人件費  (賃金、諸手当、法定福利費等) | 円 | （例）支援員：月額○○円×12か月×１人＝×××円 |
| ②需用費  （光熱水費、印刷製本費等） |  |  |
| ③役務費  （通信運搬費、保険料等） |  |  |
| ④使用料及び賃借料  （⑥以外） |  |  |
| ⑤その他 |  |  |
| 小　計 … Ｘ | (A) |  |
| ⑥建物の賃借料…Ｙ | (B) | （例）家賃：月額××円×12か月＝△△△円 |
| 合計…Ｘ＋Ｙ | (C) |  |

（注）①「合計…Ｘ＋Ｙ」欄の数字は、４の「合計…Ｘ＋Ｙ＋Ｚ」欄の数字と一致すること。

②補助対象経費に工事請負費及び委託料が含まれ、県内事業者への発注が困難な場合、その理由を積算内訳欄に記載すること。

４　収入額等の内訳（見込み）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 項　　　目 | | | | 金　額 | 積　　算　　内　　訳 |
| 収  入  額 | ①利用者負担額  （実徴収額） | | | 円 | 光熱水費　：＠　　　　　円×延べ　　　日＝　　　　　円  食材料費　：＠　　　　　円×延べ　　　日＝　　　　　円  家賃相当額：＠　　　　　円×延べ　　　日＝　　　　　円  その他（人件費等）  　　　　　：＠　　　　 円×延べ　　　日＝　　　　　円  （注）延べ日数は、当該生活体験ホームの利用者全ての日数 |
|  | | ＜再掲＞  家賃相当額 | (a) |
| （参考）②　１の①を基に算定される利用者負担額 | | | 円 | 光熱水費　：＠　　　　　円×延べ　　　日＝　　　　　円  食材料費　：＠　　　　　円×延べ　　　日＝　　　　　円  家賃相当額：＠　　　　　円×延べ　　　日＝　　　　　円  その他（人件費等）  　　　　　：＠　　　　 円×延べ　　　日＝　　　　　円  （注）延べ日数は、当該生活体験ホームの利用者全ての日数 |
|  | ＜再掲＞  家賃相当額 | | (b) |
| ③寄附金 | | |  |  |
| ④その他 | | |  |  |
| 小　計…Ｘ  ①＋③＋④ | | |  |  |
| ⑤補助金…Ｙ | | | |  | ＜参考＞市町村別延べ実施（予定）日数  ○○市：　　　日　　　　××町：　　　日  △△町：　　　日 |
| ⑥自己財源…Ｚ | | | |  |  |
| 合　計…Ｘ＋Ｙ＋Ｚ | | | |  |  |

（注）①「合計…Ｘ＋Ｙ＋Ｚ」欄の数字は、３の「合計…Ｘ＋Ｙ」欄の数字と一致すること。

　　 ②延べ日数について、障害福祉サービスの利用を除いた日数を記載すること。

　　　 ③「④その他」について、障害福祉サービスの利用に係る収入を含めて記載すること。